

可能ならば、NHK高校講座 日本史 27回 タイトル「幕府の滅亡」を視聴してから、以下の課題に取り組んでみてください。より学びが深まることが期待されます。また、歴史の教科書を使いながら、課題に取り組むこと。(P142～P145) この課題は、授業再開後に、皆さんよりスムーズに授業を理解できるよう予習してもらおうことがねらいです。この課題の学習内容は、学校再開後、授業でも取り扱います。

- ① 日米修好通商条約(日本がアメリカと貿易することを認めた条約)を結んだ時の江戸幕府の大老となっていた人は誰ですか。

① 井伊 直弼

- ② 江戸幕府の大老井伊直弼は、幕府の判断で日米修好通商条約を結びましたが、幕府の判断を強く批判した人たちや将軍のあとつぎ(次の将軍を誰にするか)をめぐる対立した人々を処罰しました。この弾圧(力づくで反対者をおさえつけたこと)を何といいますか。五字で答えなさい。

② 安政の大獄

- ③ 長州藩(山口県)と薩摩藩(鹿児島県)は、武器を使って力づくで、外国が日本に来ないようにしようと考えていました。(このような考え方を攘夷といいます)しかし、ある出来事がきっかけで、“力づくで外国を追い払うことは無理だ”と考えを変えました。その出来事とは何ですか。教科書P143(「新たな政権を目指して」)から、それぞれの藩が考えを変えるきっかけになった出来事を説明する一文を書き抜きなさい。

③ 薩摩藩→1863年、前年に薩摩藩士がイギリス人を殺傷した生麦事件に対する報復として、イギリス艦隊が鹿児島を砲撃しました(薩英戦争)。

長州藩→1864年には、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四国連合艦隊が長州藩の外国船砲撃に対する報復として下関の砲台を攻撃しました。

二つの藩は、幕府を倒して、天皇中心の政権をつくる考えを強めていく。

- ④ 幕府は、幕府を倒そうとする長州藩を攻撃しましたが、長州藩を降参させることはできませんでした。そのことから、力づくで倒される前に、政治の決定権を朝廷に返すことにしました。この出来事を漢字4字で何と言いますか。また、この時の江戸幕府の将軍は誰ですか。

④ 出来事

大政奉還(たいせいほうかん)

④ 人物

徳川慶喜(とくがわよしのぶ)

- ⑤ 政治の決定権を朝廷に返した江戸幕府でしたが、新しい国づくりには、最後の将軍徳川慶喜を中心に、積極的に参加しようとはしました。新しい政府に慶喜は参加することを認めましたか。認めませんでしたか。

⑤ (認めた ・ 認めなかった)

→さらに、将軍の領地も大幅に減らされたことから、納得のいかない家来たちを中心に、新政府と元幕府の人々の間で戦いが起こります。この戦いを戊辰戦争(ぼしんせんそう)といいます。